

Naples は何処？

吉田 真人

40余年前に英国に赴任。最初の夏休みを控えた時期の、秘書との会話。彼女はイタリア人と結婚している。「夏休みに何処に行ったら良いか、イタリアだったら何処をリコメンドする？」「そうね…Naplesなんかが良いわね」「Naples？聞いたことがないな、イタリアのどの辺にあるのか？」「南の方よ」「ローマの近く？」「もっと南」「では…ナポリの近く？」「ナポリのことを英語では Naples というのよ」「エッ…」(最後の s は殆ど聞き取れない)

英語では近隣諸国の街の名前を英語流に変えて憚るところがない。München→Munich、Zürich→Zurich、Wien→Vienna、Roma→Rome、等々。フランスやスペインも負けていない、London は Londres だ。

Köln (独) は英仏ともに Cologne。eau de cologne と Kölnisch Wasser が同じものとはとても思えないが。

地名だけではなく、人名も同様に変えている。新大陸発見の航海にコロンブスを送り出したスペインの女王は英語ではエリザベス。一方、昨年亡くなった英国のエリザベス二世は、スペインではイサベル二世、現在のチャールズ英国王はカルロス三世と呼ぶ。

日本ではどうなっているか。

日経新聞は記事中に習近平氏の名前がでると、必ず(シー・ジンピン)とカタカナを付けている。TV等では金正恩をキムジョンウンと呼んでいる。いつからこんなことになったのか。

以前は、孫文はソンブンであり、蒋介石はショウカイセキ、李承晩はリショウバン、朴正熙はボクセイキと呼んでいた。スン・ウエンやチャン・チェシー、イ・スンマン、パク・チョンヒとは呼んでいなかった。濟州島もチェジュトウではなかった。

日本は、近隣国の発音に近似させることが、美德または謙讓の精神と思うようになったらしいが、こんなことをしていると、やがて、自国のことをリーベンやイルボンと呼べと言われるかも知れない。

(810字 2024年12月12日)